

I 学校の沿革

- 昭和51年11月16日 東京都立秋川高等学校教頭 野々山 正司、東京都立学校長に任命され、東京都立調布南高等学校（仮称）設準備担当を命ぜられる。東京都立八王子東高等学校内に開設準備事務所を設置。
- 昭和51年12月27日 都条例第89号により都立学校設置条例が一部改正され、東京都立調布南高等学校（調布市小島町694番1）の設立認可、野々山 正司、初代校長に補せられる。
- 昭和52年 1月 5日 校訓、校樹（若松）、校服を制定する。
- 昭和52年 2月 5日 校旗を制定する。
- 昭和52年 2月 7日 校章を制定する。
- 昭和52年 4月 6日 校歌を制定する。創立記念日（6月12日）を制定する。
- 昭和52年 4月 8日 第1回入学式を、調布市公民館において挙行する。
- 昭和52年 4月 9日 東京都立稲城高等学校内仮校舎へ移転する。
- 昭和52年 8月31日 東京都立稲城高等学校内仮校舎より、現地へ移転する。
- 昭和53年 8月11日 体育館が落成される。
- 昭和54年 6月12日 開校記念式典を挙行する。
- 昭和56年 4月 1日 野々山 正司 校長、忍岡高等学校長へ転補により、武蔵村山高等学校長 三浦 芙美雄、第2代校長として着任する。
- 昭和59年 4月 1日 三浦 芙美雄 校長退職により、野津田高等学校長 畠山 義和、第3代校長として着任する。
- 昭和61年 4月 1日 畠山 義和 校長退職により、武蔵高等学校教頭 金澤 榮祐、第4代校長として着任する。
- 昭和61年10月18日 創立10周年記念式典を挙行する。
- 平成元年 4月 1日 金澤 榮祐 校長退職により、武蔵野北高等学校教頭 下田 亘、第5代校長として着任する。
文部省及び東京都教育委員会から「奉仕体験学習研究推進校」に指定される。
- 平成3年 3月31日 校庭の改修工事が終了する。
- 平成5年 4月 1日 下田 亘 校長退職により、田無工業高等学校教頭 藤岡 和夫、第6代校長として着任する。
- 平成8年 4月 1日 藤岡 和夫 校長退職により、東大和南高等学校教頭 田村 雅俊、第7代校長として着任する。
- 平成8年11月 2日 創立20周年記念式典を挙行する。
- 平成12年 4月 1日 田村 雅俊 校長退職により、立川高等学校長 田村 二葉、第8代校長として着任する。
- 平成14年 4月 1日 田村 二葉 校長退職により、山崎高等学校長 佐藤 幸夫、第9代校長として着任する。
- 平成18年 4月 1日 佐藤 幸夫 校長退職により、篠崎高等学校長 納屋 信、第10代校長として着任する。
- 平成18年11月18日 創立30周年記念式典を挙行する。
- 平成21年 4月 1日 納屋 信 校長退職により、瑞穂農芸高等学校長 宇田川 敏昭、第11代校長として着任する。
- 平成22年 3月24日 校舎等大規模改修工事が実施される。
- 平成24年 4月 1日 宇田川 敏昭 校長退職により、拝島高等学校長 相葉 玲、第12代校長として着任する。
- 平成28年 4月 1日 相葉 玲 校長退職により、国立高等学校副校長 山崎 仁、第13代校長として着任する。
東京都教育委員会より、「普通科中堅校における学習指導・進路指導に関するモデル校」に指定される。
- 平成28年11月26日 創立40周年記念式典を挙行する。
- 平成31年 4月 1日 山崎 仁 校長転任により、日野高等学校長 小宮 徳健、第14代校長として着任する。
- 令和 3年 3月13日 第42回卒業式 挙行する。男子124名、女子114名、合計238名卒業する。
- 令和 3年 4月 1日 小宮 徳健 校長、六本木高等学校長へ転補により、東大和南高等学校副校長 荒井 篤、第15代校長として着任する。